

令和5年度
伊豆市議会 ～みんなで語る会～

報告書

11/15

水



生きいきプラザ 2階和室

12/12

火



生きいきプラザ 2階会議室

12/13

水



生きいきプラザ 2階和室

R6
1/22

月



伊豆総合高等学校 会議室

令和5年11月～令和6年1月

伊豆市議会

議会報告会実施報告

1 開催日・参加対象者・人数

- ① 11月15日(水) 10時～ ママスタッフ 8人
- ② 12月12日(火) 19時～ 小学校PTA保護者 10人
- ③ 12月13日(水) 19時～ 中学校PTA保護者 10人
- ④ 1月22日(月) 16時～ 伊豆総合高等学校生徒 9名人

2 会場

- ① 生きいきプラザ2階 和室第1・2
- ② 生きいきプラザ2階 第3・4会議室
- ③ 生きいきプラザ2階 和室第1・2
- ④ 伊豆総合高等学校

3 開催方法

伊豆市議会報告会実施要綱(資料参照)による。

4 主催委員会・主催委員

伊豆市議会報告会実行委員会 6人

委員長 飯田 大、副委員長 鈴木 正人、下山 祥二、間野 みどり、浅田 藤二、黒須 淳美、オブザーバー 青木 靖 議長

5 プログラム内容

- (1) 開会(司会) 飯田 大 実行委員長
- (2) 自己紹介
- (3) 伊豆市の未来をテーマにプレゼン(5～6分) 鈴木 正人 委員
- (4) ワークショップ(テーマごと意見聴取) ファシリテーター 浅田 藤二 委員
- (5) お礼の言葉 青木 靖 議長
- (6) 閉会 間野みどり 委員

6 資料

- ① 未来を担う「こどもたちに」 持続可能な伊豆市のバトンを渡すために必要なこと
さあ、みんなで考えませんか? (P20パワーポイント資料参照)
- ② 議会報告会実施報告書(1-①～④分)
- ③ 伊豆市議会報告会実施要綱
- ④ 令和5年11月16日 伊豆日日新聞 記事

(別記様式)

議会報告会実施報告書

実施日	R5年 11月 15日	開催時間	10時00分～11時00分	
実施場所	生きいきプラザ2階和室			
出席議員	飯田 大 (委員長)	鈴木 正人 (副委員長)	下山 祥二	間野 みどり
	浅田 藤二	黒須 淳美	青木 靖議長 (オブザーバー)	
報告内容	テーマ 未来を担う「こどもたちに」 持続可能な伊豆市のバトンを渡すために必要なこと さあ、みんなで考えませんか？ 方法 パワーポイントで作成した資料を見ながら説明			
質問内容	1. 伊豆市に住んで良かったこと 2. ではどうしたらいいか			
参加者意見	1. 伊豆市に住んで良かったこと ◆ 人口が少ないことで子育て支援が充実 ◆ 地域で子供を受け入れてくれる ◆ 病児病後児保育の支援が充実している ◆ 自然豊かなところなので子どもを育てる環境に適している(2歳の我が子が言っている) ◆ 不便に感じたが、改めて自然の豊かさを実感 ◆ 地域、親と子育てができる(働きながら子育ての支援を受けている) ◆ 人口減少をチャンスととらえる			

	<p>2. ではどうしたらいいか</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆ 子どもたちに<u>借金を残さない</u>(例：子育て支援の財源確保→高齢者を含めた現役世代に応分の負担をしてもらいたい) ◆ 年配の人たちが<u>伊豆市を肯定しない</u> ←これを改善 <u>すぐにできる</u> ◆ <u>「学区の自由化」を進めた方がいい</u> ◆ 自転車通学→自転車走行可能な道路が少ない ◆ 天城湯ヶ島支所周辺の道路が危ない(<u>子供だけで遊ばせられない</u>) ◆ 働き場所がない(近隣市町へ通勤) 工場誘致は難しい→ここに住みたい産業(例：保育士の待遇改善→市役所職員になってもらう) <u>すぐにできる</u> ◆ <u>新たな産業を起こすための行政のバックアップ体制(補助金頼みにしない)</u> ◆ 教育を魅力あるものにしてほしい(例：<u>新中学校の特色ある教育</u>) <ul style="list-style-type: none"> ・地域が担う教育→年配世代と若者世代が<u>話し合える機会の創出</u> ◆ <u>伊豆市が好きな人を増やす</u>(例：ファミリーズの活動) <ul style="list-style-type: none"> ・自分ができることをやる ◆ <u>耳鼻科が欲しい</u>
備 考 欄	<p>対象 ママスタッフのみなさん(5名)</p>

(別記様式)

議会報告会実施報告書

実施日	R5年 12月 12日	開催時間	19時 00分 ~20時 00分	
実施場所	生きいきプラザ 2階第3会議室			
出席議員	飯田 大 (委員長)	鈴木 正人 (副委員長)	下山 祥二	間野 みどり
	浅田 藤二	黒須 淳美	青木 靖議長 (オブザーバー)	
報告内容	テーマ 未来を担う「こどもたちに」 持続可能な伊豆市のバトンを渡すために必要なこと さあ、みんなで考えませんか？ 方法 パワーポイントで作成した資料を見ながら説明			
質問内容	1. 伊豆市に住んで良かったこと 2. こうしたら伊豆市は良くなると思うこと			
参加者意見	1. 伊豆市に住んで良かったこと ◆近所の方が子育てに協力的なところ (例)ハロウィンのトリックオアトリートに協力してくれた どんど焼きなどの行事 ◆身近な自然環境の豊かさを感じる (例)ホテル ◆伊豆半島の観光スポットへのアクセスが良い ◆伊豆市のPRに力を入れているところ ◆働く場所の確保 (例)給料、休暇などの福利厚生が充実している 気になる不便なところとして◆市内の病院が少ない (例)小児科や耳鼻科が無いので市外に行かないといけない			

	<p>2. こうしたら伊豆市は良くなると思うこと</p> <ul style="list-style-type: none"> ◆子どもの遊び場（公園）がもっとあると良い （例）子どもが歩ける距離にあるといい ◆多世代住居がもっと増えれば、子育て支援を受けやすくなる。 →推進していく必要がある（インセンティブをつける） ◆子育て支援に関する行政手続きが面倒 ◆バスの本数が少なすぎる（中学生でも困る） ◆通学補助の定期の支給が片道でいいのに往復定期しか受けてくれない →無駄（もっと柔軟な対応ができないか） ◆シルバーなど高齢者と子どもたちの交流をもっと増やす <p>その他要望</p> <p><u>今すぐできることとして</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○公共交通の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・現状は親の送迎が必要 ・通学だけでなく休みの日など友達と遊ぶ時も利用できたら助かる ○農業振興 <ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地の活用を考えてほしい ○新中学校に期待すること <ul style="list-style-type: none"> ・送迎バスを設けてもらいたい ・英語教育・プログラミング教育の充実 ○海外へ伊豆市のPRをする <ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援の充実につながる ○働き方の変化 <ul style="list-style-type: none"> ・リモート、テレワーク可 ○自転車通学しやすい道路整備 ○ライドシェアの確立 <p><u>伊豆市がぶれずに守ってほしいこと</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○防犯カメラの充実（子どもの安全のため）
備考欄	<p>対象 伊豆市内小学校 PTA 役員のみなさん</p>

(別記様式)

議会報告会実施報告書

実施日	R5年 12月 13日	開催時間	19時 00分 ~20時 00分	
実施場所	生きいきプラザ2階第3会議室			
出席議員	飯田 大 (委員長)	鈴木 正人 (副委員長)	下山 祥二	間野 みどり
	浅田 藤二	黒須 淳美	青木 靖議長 (オブザーバー)	
報告内容	テーマ 未来を担う「こどもたちに」 持続可能な伊豆市のバトンを渡すために必要なこと さあ、みんなで考えませんか？ 方法 パワーポイントで作成した資料を見ながら説明			
質問内容	1. 伊豆市に住んで良かったこと 2. ではどうしたらいいか			
参加者意見	1.伊豆市に住んで良かったこと ◆子どもが少ないので先生との関係が近い ◆田舎の子なので素直な子が多い 2.ではどうしたらいいか ◆オリジナリティを出す ◆子育てしにくい環境である ・バス代が高い、高校への通学を考えた時、親が修善寺駅まで送迎しなければならない ・交通手段、バスなどのダイヤが少なく不便 ・15歳以上の子育てにお金がかかる ・公園が少ない			

	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てのための買い物が不便 ◆20代～30代の働く場所の確保 ・働き方(テレワーク)の提案、企業支援 ◆逆に何もないことをPRしたらどうか <p>その他要望など</p> <p><u>新中学校に期待すること</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ○部活動の選択肢を増やしてもらいたい ○遠距離通学の生徒のバスなどの手段 ○PTA 活動をするうえで学校の先生方が非常に強力的なので、その点をもっとPRする ○安全な給食の提供(温かい状態で提供) ○学校敷地内で営農 ○給食の無償化 ○不登校生徒の対応 →学校の規模が大きくなるので ○土肥小中一貫校との学習情報の連携 ○自分たちが住みよさを実感できれば、子どもたちにも伊豆市に住むことを勧められる
備考欄	<p>対象</p> <p>市内中学校 PTA 役員のみなさん</p>

(別記様式)

議会報告会実施報告書

実施日	R6年 1月 22日	開催時間	16時00分～17時00分	
実施場所	伊豆総合高校			
出席議員	飯田 大 (委員長)	鈴木 正人 (副委員長)	下山 祥二	間野 みどり
	浅田 藤二	黒須 淳美	青木 靖議長 (オブザーバー)	
報告内容	テーマ 未来を担う「こどもたちに」 持続可能な伊豆市のバトンを渡すために必要なこと さあ、みんなで考えませんか？ 方法 パワーポイントで作成した資料を見ながら説明			
質問内容	1. 伊豆市に住んで良かったこと 2. ではどうしたらいいか			
参加者意見	1. 伊豆市に住んで良かったこと ◆(東京と比べて)空気がおいしい、植物がきれいになる →海がきれいなので <u>環境に適した施設</u> をつくるといい(ガーデニングなども) ◆ <u>自然(環境)</u> がいい →デジタル化が進んで都会へ流出してしまわないか ◆ いい所を発信していく →興味をもってくれること ◆ <u>買い物するところが充実</u> している(スーパーなど) →若い移住者も <u>わくわくするような楽しい施設</u> をつくる ◆ (温泉場)夜、外へ出ても危なくないけど、ガソリンスタンドのところが暗いので明るくなるといい ◆ 地域の交流が多く、近所の人も仲がいい			

	<p>◆ 道路の設備を安全に(小さい子供が大変)</p> <p>◆ バスの待ち時間が長い →公共交通がもっとあるといい</p> <p>2. ではどうしたらいいか『もし、自分が市長だったら』</p> <p>◆ (課題として)<u>空き家</u>が多い →空き家バンクの制度をもっと広げる →<u>宣伝する場所</u>も大事(例：東府屋・茶気茶気(チャキチャキ)など)</p> <p>◆ 自然環境を活かしながら<u>インフラ(道路)整備</u>をする →<u>移住者を増やす</u>ため</p> <p>◆ <u>人口減少対策</u>(便利なところがあるので) →伊豆の国市へ移っていく人もいると聞いた</p> <p>◆ 駅付近に立ち寄り場所があるといい →マックとかあったらいいな…</p> <p><u>議員からの質問として</u></p> <p>【通学について】</p> <p>○徒歩…七曲りの階段をまっすぐにした方が安全、時間もかからないのでは</p> <p>○自転車…狩野川沿いのサイクリングロードが便利 瓜生野がせまい</p> <p>○バス…本数がもう少しあるといい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・<u>お昼時</u>にないのが困る！(熊坂) ・運賃(温泉場)が40円も上がって乗る機会が減ってしまった <p>【卒業後について】</p> <p>○就職したら戻ってくる(1人暮らしする)</p> <p>○進学するが、県内なので家から通う</p>
備考欄	<p>対象 伊豆総合高校生徒会(伊豆市出身者)</p>